



# Over the Horizon ~新たな景色へ~

## 7月の月目標「己人腹心」

右の7月の目標は、「己を小さく、人は大きく、腹は立てずに、心は丸く」と読みます。ずっと以前、どこかで目にして、自己を見つめる上でいいなとメモしていました。この言葉の意味は、読み下したそのままです。

調べてみると、達磨大師の「気は長く 心は丸く 腹立てず 人は大きく 己は小さく」を基にした、変形バージョンの一つです。

右の言葉通りに行動すれば、円満な人間関係のうちに、誰とも楽しく生活していけると思います。



## 夏休みを有意義に過ごそう

42日間の夏休みが始まります。どんな風に過ごすかで、夏休みが終わって学校に出てきたとき大きな差が出ます。

物事は、「最初が肝心」「初めよければ終わりよし」と言われます。夏休みに入る前に、しっかりと計画を立て、計画に従って過ごすことで実り多い夏休みになります。

また、「早寝、早起き、朝ご飯」を意識して生活することも重要です。健康作り、体作りにも効果あります。

部活動や日々の運動で体を鍛え、1学期学校で学習した内容についてよく分からない内容があればしっかり復習しておきましょう。また、家庭で過ごす時間が、普段学校がある日とは異なり多くなります。家でできるお手伝いを、家族の一員としてしっかりしてほしいと思います。

お家の方が一生懸命働いておられるお陰で、皆さんはいろんなことができます。皆さんがすべきことを精一杯頑張りましょう。

## 心を育み、脳を活性化する読書 ①

夏は戦争について考えさせられることが多い季節でもあります。

下の本は、漫画として出版され、映画にもあり、小説化されました。

市民目線での平和のありがたさについて書かれていて、じんわり感動が広がってきます。



『芭ラズ この世界の片隅に』 原作：こうの史代

芭ラズ：蒔田陽平 双葉文庫

昭和10年頃から年を追って、広島で生まれた絵の好きな少女が、見初められて呉にお嫁に行き、戦争が激しくなっていく中で、夫やその家族と生活する様子が描かれています。淡々と叙述されている戦争の様子や夫婦の機微等心がほのぼのとする内容です。戦争を激しく非難する内容ではありませんが、平凡な市民の目線での平和の大切さを感じます。

## 心を育み、脳を活性化する読書 ②

宮崎駿監督の映画『君たちはどう生きるか』が、7月14日に公開されました。このタイトルは、下に紹介した吉野源三郎の小説『君たちはどう生きるか』からタイトルを取っているそうです。内容的に、直接の原作とはなっていないようですが、同小説が主人公にとって大きな意味をもつということで関わりがあります。映画そのものは、冒険活劇ファンタジーものです。

夏休みに本を読んで、映画を見るといいですね。

「過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる。」この言葉に出会ったとき、納得とともに、ではどうするかと考えました。私も悩み多き学生時代を過ごし、助けを求めるようにいろんな本を読みました。下の本も、いい本です、読んでみてください。

『君たちはどう生きるか』 原作 吉野源三郎 漫画 羽賀翔一  
マガジンハウス



中学生ぐらいの頃に、一度小説版を読んだことがあります。難しくった記憶があります。内容は忘れましたが、最初に出版されてから80年後に漫画も含めて大ヒットしていたので、漫画版を読みました。

損か得かが行動の原理として、大きな影響を及ぼす現代にあって、人として立派になろうと真摯に生きる少年の姿が、大変新鮮で大事なことを改めて気づかせてくれます。

※ 夏休み前後の10日間が一番事件や事故が多くなると言います。君子危うきに近寄らず。万が一、危険を感じたら「いか(いかない)、の(乗らない)、お(大声を出す)、す(すぐ逃げる)、し(誰かに知らせる)」です。